

事後評価結果

定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況			
<p>本計画の各事業の整備により、尾道松江線から観光拠点施設へのアクセスが向上し、定量的指標である「尾道松江沿線地域の観光客数」、「広島県内における外国人観光客数」、「備後圏域連携中枢都市圏における観光客数」に対して、すべての目標値を大幅に上回った。また、案内標識や観光案内サインを整備した結果、観光拠点施設へのアクセスが分かり易くなり、周遊に関わる時間短縮に寄与し、さらなる観光客数の増加につながった。</p>			
定量的指標の達成状況			
指標①観光客数【尾道松江線沿線地域】の増加			
最終目標値	50,875千人	目標値と実績値に差が出た要因	尾道松江線の全線開通により、尾道から松江間は日帰りの旅行圏域になったことに加え無料であることから、沿線の多様な観光資源に気軽に訪れることが可能となり、沿線地域の総観光客数が5年間で約1,000万人増加している。【目標6.1%増⇒実績21.9%増】
最終実績値	58,485千人		
指標②広島県内における外国人観光客数の増加			
最終目標値	625千人	目標値と実績値に差が出た要因	尾道松江線全線開通（平成27年3月22日）に加え、周辺道路の整備を進めるとともに、県において「ひろしまブランド」やしまなみサイクリングロードなどの「瀬戸内ブランド」の確立に向けた観光情報発信の強化や地域の特色を生かした魅力ある観光地づくり取り組んだことにより、目標を達成した。
最終実績値	2,433千人		
指標③備後圏域連携中枢都市圏（広島県内）における観光客数の増加			
最終目標値	20,101千人	目標値と実績値に差が出た要因	尾道松江線全線開通（平成27年3月22日）に加え、周辺道路の整備を進めたことで、広域周遊性が高まり、目標を達成した。
最終実績値	22,827千人		
特記事項（今後の方針等）			
<p>尾道松江線の全線開通により、尾道から松江間は日帰りの旅行圏域になったことに加え無料であることから、沿線の多様な観光資源に気軽に訪れることが可能となり、沿線地域の総観光客数が5年間で約1,000万人増加している。こうしたなか、両県では広島県・島根県観光連携協議会を設立し、官民連携により様々な観光キャンペーンを展開し、積極的に観光客誘致に取り組んでいる。カラーコンテンツである神話の象徴「出雲大社」や世界No.1の「しまなみサイクリングロード」のブランド力と無料の高速道路の強みを最大限活用し、高速IC等の交通拠点から観光地、さらには観光地間のアクセスを向上させることで観光周遊を一層促進し、圏域並びに出雲大社における総観光客数の増加による広域的な地域活性化を図る。</p>			